

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

京丹波

No.30
2008年
4月15日発行

大桜、
春風に舞う。

予算
特集

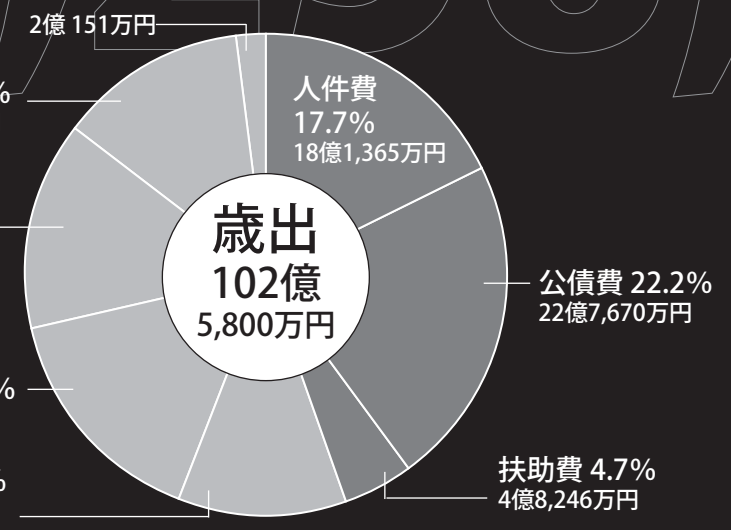
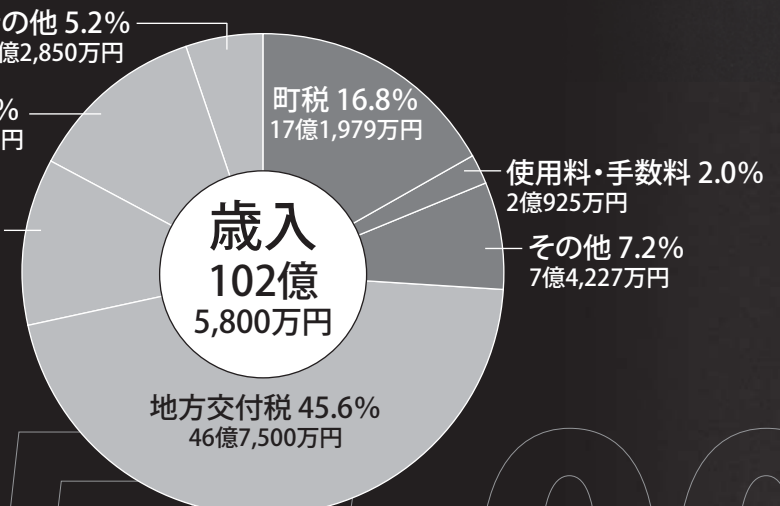


今月の表紙

春といえば「桜」。厳しい冬の寒さをじっと耐えた蕾が春のやわらかい日ざしを浴びて、一斉に開花。今年も町内のあちこちでわたしたちの目を楽しませてくれました。写真は丹波地区曾根にある大桜。春風に舞う薄紅色の花の競演は人の心を引きつけてやみません。

予算

特集
平成20年度



平成二十年度当初予算が三月の議会定例会で可決成立しました。総額は一八二億一、一八四万円(二万円未満四捨五入、以下同じ。財産区会計除く)。内訳は一般会計が一〇二億五、八〇〇万円、特別会計が七八億五、三八四万円です。

一般会計は前年度と比べ約三億円増加。町内の情報格差是正などをめざす「CATV拡張整備」や住民自治組織の設置を支援する「協働のまちづくり事業」のほか、学校施設の耐震改修や防災ハザードマップ作成などの施策を盛り込んでいます。また、将来の財政負担の軽減や実質公債費比率の抑制を行い、財政の健全化を図るため、公債費の繰上償還に三億円を計上しています。

【実質公債費比率】自治体収入に対する借金返済額の比率を示す指標。従来の普通会計の借金に加え、新たに特別会計への借金返済にかかる繰出金も含むなど、町の財政の実態をより明確化したもの。比率が十八%を超えると地方債発行に際し、京都府の許可が必要になり、二十五%を超えると単独事業の地方債発行が一部認められなくなります。

歳入のうち、町税収入など町が自らの力で収入できるお金(自主財源)は全体の二六%。残りの七四%は、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)に頼っている状況です。

自主財源の柱である町税収入は一七億一、九七九万円を計上しています。町民総所得の伸びが依然としてマイナス基調にあることや償却資産の減価などを背景に、前年度に比べ一、四九二万円減額しています。

一方、依存財源では、最大の収入源である地方交付税を四六億七、五〇〇万円計上。このほか国庫・府支出金を十一億五、一四九万円、町債(道路や施設を整備するために借り入れるお金)を十二億三、一七〇万円見込んでいます。

このように歳入においては、過大見積りにならないよう精査するとともに、前年度の推移から見込める財源をほぼ満額計上しています。このことにより、二年連続して財政調整基金(貯金)の取り崩しを行うことなく予算を編成。将来的な財政需要に備えました。そのほかの歳入をグラフのとおり見込んでいます。

一般会計 歳出 [性質別]

歳出のうち、人件費や扶助費(医療費助成などの経費)、公債費(町債の返済金)は「義務的経費」と呼ばれ、支出が義務づけられており、任意に削減しにくい経費です。グラフをみると義務的経費は約四五%。歳出全体の半分近くを占めており、町の財政はゆとりがない状況にあります。

こうした中、人件費については一八億一、三六五万円(前年度比約五、二〇〇万円減)を計上。引き続き、特別職や管理職手当の減額、時間外勤務手当の抑制とともに、職員の間定員適正化に努めていきます。公債費は二二億七、六七〇万円。このうち三億円を繰上償還にあてています。また、物件費については事務経費の精査に努めましたが、新たに始める特定健診事業や障がい児の発達支援事業の計上により前年度比二、二七〇万円の増額となっています。

歳出の主なものはCATV拡張整備事業(五億二、五〇〇万円)、協働のまちづくり事業(三億八、八五六万円)、校舎耐震改修(六、六二〇万円)、道路新設改良(三億四、八五六万円)、畑川ダム建設関連の経費(四、一七二万円)など。このほか詳しくは次ページのとおりです。

2	予算
8	職員の配置・人の動き
12	暮らしのガイド —戸籍住民窓口での「本人確認」が法律上のルールになります。 —新しい子育て支援がスタート
14	Dr's Message いきいき健康術
15	フラッシュ TOWN NEWS 2008 特別職報酬、据え置きが適当 —特別職報酬等審議会が答申 今後の農業・農村を考える講演会開く —京丹波村おこしふる里ネットワーク 高齢者世帯の安心確保へスクラム —ひとり暮らし高齢者等の見守り支援 伝承の技を熱演 —中部地域伝統芸能フェスティバル スポーツの功労や好成績たたえる —京丹波町スポーツ賞表彰式 夢と希望を胸に学び舎羽ばたく —卒業 卒園式

予算

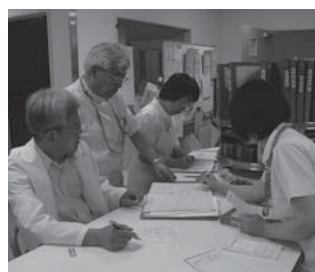
予防接種事業	2,347万円
合併浄化槽設置整備事業	1,250万円
下水道事業特別会計繰出金(浄化槽)	4,810万円
その他環境衛生に関する経費	328万円
南丹病院組合負担金	1,758万円
病院事業運営補助金	2億8,927万円
地域医療一般経費	34万円
保健センター管理事業	1,489万円
ごみ処理対策事業	331万円
船井郡衛生管理組合分担金	3億879万円
簡易水道会計繰出金	2億7,123万円

農林水産業費 16億2,703万円

農業委員会の運営など	761万円
農業総務費(職員の給与など)	8,053万円
京野菜こだわり産地支援事業	470万円
中山間地域直接支払事業	1億1,645万円
水田農業構造改革対策助成事業	2,173万円
丹波ふるさと振興公社・農業公社運営補助	1,750万円
農地・水・環境保全向上対策事業	1,037万円
丹波食彩の工房管理運営委託	1,450万円
瑞穂マスターズ施設管理運営委託	1,040万円
京の黒大豆・小豆等産地づくり事業	107万円
有害鳥獣対策事業(防除施設設置、捕獲事業)	2,876万円
その他農業振興に関する経費	3,352万円
畜産振興に関する経費	2,221万円
南丹地区農用地総合整備事業	9,047万円
小規模農業基盤整備事業	2,028万円
農業農村整備事業(知野辺区農業用水池改修)	1,320万円
その他農地保全などに関する経費	3,430万円
(土地改良区運営補助など)	
下水道事業特別会計繰出金(農業集落排水)	2億1,385万円
山村開発センターの管理運営	695万円
情報センター(丹波・瑞穂)の管理運営	1億690万円
(職員給与など含む)	
新山村振興等農林漁業特別対策事業	11万円
有線テレビ(CATV)拡張整備事業	5億2,500万円
林業総務費(職員給与など)	1,852万円
松くい虫防除事業	116万円



情報基盤の統一による町内情報格差の解消や地上デジタル放送、ブロードバンド環境への対応などを目的に、今年度からCATV拡張整備事業に着手します。(自主放送番組の収録、瑞穂情報センター)



今年度、瑞穂病院運営補助は約2億9,000万円を計上。厳しい経営環境にある瑞穂病院では、4月から医事業務の一部を民間に委託しています。(瑞穂病院スタッフルーム)



今年度からメタボリックシンドロームに着目した特定健診、特定保健指導が始まります。(巡回健康相談、水呑公民館)



平成20年4月から、これまでの「老人保健」に変わる「後期高齢者医療制度」がスタート。制度を運営する「府広域連合」の事務負担金を今年度から新たに計上しています。(和知地区の高齢者のつどい・こここクラブでゲームを楽しむお年寄りたち。安栖里環境改善センター)

民生費 16億9,771万円

社会福祉総務費	2億3,393万円
(職員給与や在宅介護支援センター運営など)	
国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	7,492万円
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託	70万円
共同作業所入所訓練事業	2,117万円
重度心身障がい老人健康管理事業	3,474万円
心身障がい者医療事業	4,376万円
身体障がい者自立支援医療給付事業	1,927万円
障がい者自立支援事業	1億7,648万円
地域生活支援事業	3,273万円
その他障がい福祉に関する経費	733万円
老人医療事業	3,108万円
シルバー人材センター事業	633万円
介護保険特別会計繰出金	2億1,904万円
在宅高齢者等生活支援事業	2,718万円
(外出支援・食の自立支援など)	
後期高齢者医療広域連合の事務負担金	2億1,322万円
その他老人福祉に関する経費	3,937万円
国民年金事務に関する経費	78万円
児童手当支給事業	1億766万円
すこやか子育て医療費助成	3,613万円
すこやか子育て祝金	900万円
発達支援事業	520万円
その他子育て支援に関する経費	1,774万円
(チャイルドシート購入助成、京都子育て支援医療助成など)	
母子父子家庭医療事業など	879万円
保育所の運営管理(職員給与など含む)	3億3,052万円
一時保育事業	63万円

衛生費 11億4,249万円

保健衛生総務費(職員給与など)	7,597万円
母子・成人保健、健康増進事業	845万円
特定健診・特定保健指導など	1,488万円
後期高齢者健康診査事業	597万円
高齢者実態把握事業	660万円
その他健康診査事業	3,741万円
機能回復訓練事業	49万円

総務費 13億3,240万円

一般管理に関する経費	4億4,841万円
(職員給与や区長会運営、職員研修など)	
公共料金等審議会経費	43万円
行政改革推進委員会経費	21万円
電子入札システム導入事業	370万円
広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など	376万円
例規集管理事業	680万円
財政管理・会計管理に関する経費	135万円
財産管理に関する経費	2億2,229万円
(町有財産、庁舎管理、基金積立事業など)	
山陰本線複線化事業補助金	7,527万円
総合計画推進事業	91万円
その他総合企画に関する経費	236万円
支所の管理に関する経費	2億4,236万円
(職員給与など含む)	
公平委員会事業	5万円
グリーンランドみずほ管理運営事業	2,645万円
和知駅構内使用料	72万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など	132万円
交通安全啓発事業	41万円
町営バス運行事業特別会計繰出金	4,859万円
交通指導員活動事業	134万円
放置車両対策事業	5万円
自治振興補助金事業	60万円
協働のまちづくり事業(住民自治組織設置支援など)	38万円
行政情報システムの運用管理など	4,602万円
ホームページの運用管理	50万円
情報化推進に関する経費	3,003万円
(地域イントラネット・インターネット運営など)	
国際交流推進事業	301万円
人権啓発・男女共同参画推進など	254万円
税務に関する経費(職員給与など含む)	1億1,293万円
戸籍住民基本台帳管理に関する経費	4,070万円
(職員給与など含む)	
選挙管理委員会・選挙啓発事業	42万円
農業委員会選挙の執行	688万円
各種統計調査に関する経費	104万円
監査委員に関する経費	59万円



今後の10年間のまちづくりの指針となる「京丹波町総合計画」。昨年3月に基本構想、同10月に基本計画を策定。今年度から計画に基づいて各施策を推進していきます。



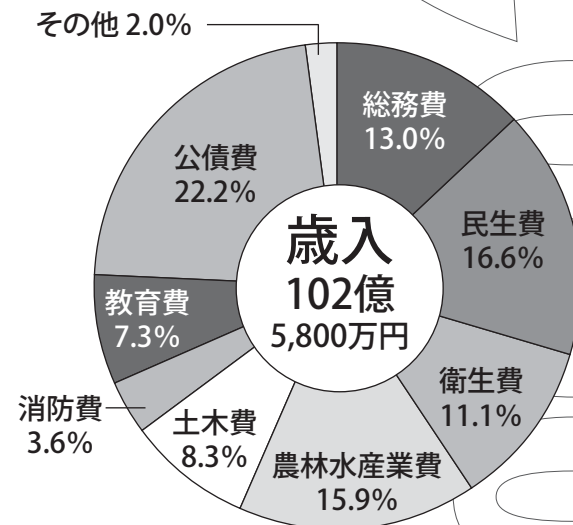
今年度から各地域における住民自治組織の組織化に向けて、支援策を推進します。写真は、1年間協議を重ね、昨年11月に町長に報告書を提出した「住民自治組織によるまちづくり検討委員会」。(役場議場)

一般会計主な使いみち

102億円を こう使う

一万円未満四捨五入

一般会計
歳出
【目的別】



後期高齢者医療特別会計は、同医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、広域連合に納付するための会計です。

後期高齢者医療

後期高齢者医療制度への移行に伴い、本年三月分までの医療給付などを計上しています。

老人保健

事業勘定の歳入のうち自主財源である国保税収入は、三億九、七五万円見込んでいます。歳出は、保険給付費(一億三、〇四二万円)や後期高齢者支援金(二億一、一八六万円)、特定健診などの保健事業費(三、〇七八万円)などを計上。今年度から後期高齢者医療制度の創設に伴い被保険者が大幅に減少するほか、生活習慣病(メタボリックシンドローム)に着目した特定健診・特定保健指導の義務化など国保事業の運営が大きく変わります。

国民健康保険事業

事業勘定の歳入のうち自主財源である国保税収入は、三億九、七五万円見込んでいます。歳出は、保険給付費(一億三、〇四二万円)や後期高齢者支援金(二億一、一八六万円)、特定健診などの保健事業費(三、〇七八万円)などを計上。今年度から後期高齢者医療制度の創設に伴い被保険者が大幅に減少するほか、生活習慣病(メタボリックシンドローム)に着目した特定健診・特定保健指導の義務化など国保事業の運営が大きく変わります。

特別会計当初予算の概要

下水道事業

前年度に比べ二億一、〇〇〇万円の増額。これは公債費の繰上償還約一億二、五〇〇万円を計上するなど経営の健全化を図るものです。このほか公共下水道整備事業に一億五、七八三万

円、公債費六億二、三三三万円など。

出は、上水道事業に二億八、九五七万円、簡易水道事業に一億九、七〇〇万円、公債費六億二、三三三万円など。

増額は、上水道事業に二億八、九五七万円、簡易水道事業に一億九、七〇〇万円、公債費六億二、三三三万円など。

水道事業

統合簡易水道整備事業は、丹波瑞穂地区で八一%、和知地区で六七%の進捗(十九年度末見込み)。主な歳入は、上水道事業に二億八、九五七万円、簡易水道事業に一億九、七〇〇万円、公債費六億二、三三三万円など。

介護保険事業

事業勘定は二億七、〇四六万円。歳入のうち自主財源である保険料収入は二億七、〇七〇万円を見込んでいます。歳出では、保険給付費を一四億九、四九〇万円計上しています。

町営バス運行事業

収益的収入・支出に八億四、二九〇万円を計上。収入のうち入院や外来などの医療収益を六億九、二二二万円見込んでいます。診療報酬改定による減収など厳しい経営環境にありますが、今年度は四月から医事業務の一部を民間に委託し、経費削減や経営の効率化を図るとともに、病床の再編(一般Ⅱ三十九床、療養Ⅱ八床に再編)や、新たに外来の土曜診療(月二回)を行うなど、患者ニーズにこたえられる地域医療の推進に努めていきます。

収益的収入・支出に八億四、二九〇万円を計上。収入のうち入院や外来などの医療収益を六億九、二二二万円見込んでいます。診療報酬改定による減収など厳しい経営環境にありますが、今年度は四月から医事業務の一部を民間に委託し、経費削減や経営の効率化を図るとともに、病床の再編(一般Ⅱ三十九床、療養Ⅱ八床に再編)や、新たに外来の土曜診療(月二回)を行うなど、患者ニーズにこたえられる地域医療の推進に努めていきます。

瑞穂病院事業

収益的収入・支出に八億四、二九〇万円を計上。収入のうち入院や外来などの医療収益を六億九、二二二万円見込んでいます。診療報酬改定による減収など厳しい経営環境にありますが、今年度は四月から医事業務の一部を民間に委託し、経費削減や経営の効率化を図るとともに、病床の再編(一般Ⅱ三十九床、療養Ⅱ八床に再編)や、新たに外来の土曜診療(月二回)を行うなど、患者ニーズにこたえられる地域医療の推進に努めていきます。

収益的収入・支出に八億四、二九〇万円を計上。収入のうち入院や外来などの医療収益を六億九、二二二万円見込んでいます。診療報酬改定による減収など厳しい経営環境にありますが、今年度は四月から医事業務の一部を民間に委託し、経費削減や経営の効率化を図るとともに、病床の再編(一般Ⅱ三十九床、療養Ⅱ八床に再編)や、新たに外来の土曜診療(月二回)を行うなど、患者ニーズにこたえられる地域医療の推進に努めていきます。

■会計別当初予算額

会計名	本年度	前年度	比較
一般会計	102億5,800万円	99億4,100万円	3億1,700万円
特別会計	78億5,384万円	94億3,726万円	△15億8,342万円
国民健康保険事業(事業勘定)	18億349万円	17億2,963万円	7,386万円
国民健康保険事業(質美診療所)	1,794万円	1,724万円	70万円
国民健康保険事業(和知診療所)	3億5,606万円	3億6,170万円	△564万円
国民健康保険事業(和知歯科)	7,103万円	7,113万円	△10万円
老人保健	2億4,990万円	21億214万円	△18億5,224万円
後期高齢者医療	1億9,894万円	—	1億9,894万円
介護保険事業(事業勘定)	15億7,046万円	14億7,235万円	9,811万円
介護保険事業(サービス勘定)	685万円	902万円	217万円
水道事業	13億5,560万円	17億1,970万円	△3億6,410万円
下水道事業	12億円	9億9,000万円	2億1,000万円
町営バス運行事業	1億2,294万円	1億715万円	1,579万円
土地取得	42万円	42万円	0円
育英資金給付事業	321万円	341万円	△20万円
瑞穂病院	8億9,700万円	8億5,337万円	4,363万円

操法訓練大会事業…………… 495万円
 消防団組織再編事業…………… 2,915万円
 その他消防防災に関する経費…………… 196万円
 消防施設整備事業(防災センター改修など)…………… 198万円
 防災行政無線維持管理事業…………… 376万円
 防災ハザードマップ作成業務…………… 1,181万円
 その他防災・災害対策に関する経費…………… 152万円

教育費 7億4,796万円

教育委員活動事業…………… 147万円
 教育委員会事務局一般経費…………… 1億6,672万円
 (職員給与や学校指導主事設置、学童保育事業など)
 育英資金給付事業特別会計繰出金…………… 153万円
 小学校施設耐震改修事業(下山小)…………… 5,850万円
 中学校施設耐震設計事業(和知中)…………… 770万円
 その他小学校施設の管理に関する経費…………… 1億1,818万円
 (職員給与、AED(除細動器)設置など)
 学校評価システム構築事業…………… 48万円
 小・中学校学習支援教員等配置事業…………… 801万円
 その他小学校教育振興に関する経費…………… 3,255万円
 (教材費、スクールバス運行など)
 中学校の管理に関する経費(職員給与など)…………… 5,156万円
 語学指導等外国青年招致事業…………… 778万円
 その他中学校教育振興に関する経費…………… 4,372万円
 (学校評価システム、国際交流、スクールバス運行など)
 幼稚園の管理運営に関する経費…………… 6,608万円
 (職員給与など含む)
 成人式の開催…………… 89万円
 人権教育に関する経費…………… 35万円
 社会教育団体育成事業…………… 462万円
 その他社会教育振興に関する経費…………… 628万円
 (ふるさと体験資料館の運営、親子四季体験教室など)
 公民館管理運営・図書館活動など…………… 3,331万円
 文化財保護に関する経費…………… 121万円
 生涯スポーツ振興事業…………… 179万円
 体育指導委員活動事業…………… 80万円
 その他社会体育振興に関する経費…………… 563万円
 体育施設の維持管理に関する経費…………… 1,324万円
 学校給食事業(職員給与など含む)…………… 1億1,556万円



写真は、施設の耐震改修を予定している下山小。和知中では耐震設計事業を予定しています。そのほか今年度、小学校においてはAED(除細動器)の設置も予定。安心・安全な教育環境づくりを図ります。



町消防団は4月から新しい組織体制でスタート。今年度、消防車両や防災センターの表示変更、団統一の訓練服の更新などを予定しています。

公有林整備事業…………… 2,201万円
 森林整備地域活動支援事業…………… 2,490万円
 森林管理道開設事業(和知地区才原一広瀬)…………… 9,951万円
 災害に強い森づくり事業…………… 1,005万円
 (仏主区の倒木処理、植栽など)
 その他林業振興に関する経費…………… 6,372万円
 (緑の公共事業、クリ生産振興、林道維持管理など)
 林業センターの管理運営…………… 386万円
 内水面漁業振興対策など…………… 292万円

商工費 9,732万円

企業誘致対策…………… 350万円
 その他商工業振興に関する経費…………… 4,536万円
 (職員給与や商工会小規模事業経営支援事業補助など)
 質志鐘乳洞公園の管理運営…………… 1,183万円
 特産館「和」、わち山野草の森管理運営委託…………… 2,800万円
 農林業体験公園管理委託…………… 120万円
 その他観光振興に関する経費…………… 743万円

土木費 8億4,708万円

土木総務費(職員の給与など)…………… 7,890万円
 道路台帳整備事業…………… 100万円
 道路橋りょうの維持管理、交通安全施設整備…………… 2,294万円
 道路新設改良事業…………… 3億4,856万円
 河川維持管理事業…………… 570万円
 河川改良事業…………… 2,700万円
 ダム関連対策事業…………… 4,171万円
 都市計画などに関する経費…………… 440万円
 都市公園整備(須知)などに関する経費…………… 5,372万円
 下水道事業特別会計繰出金(公共下水道)…………… 2億5,662万円
 町営住宅維持管理事業…………… 1,033万円
 住宅・建築物耐震診断事業…………… 16万円

消防費 3億7,139万円

京都中部広域消防組合負担金…………… 2億2,830万円
 消防団活動運営事業…………… 7,731万円
 消防施設の維持管理…………… 1,064万円



新設改良工事を行っている町道田中垣内線(瑞穂地区和田)。今年度、一部供用開始予定です。



黒大豆、小豆、ソバ、京野菜などの特産振興、営農組織への支援など生産性の高い農業の実現に努めます。(黒大豆畑、水戸)

瑞穂病院
京丹波町和田大下28番地

瑞穂病院 ☎86-0220
【院長】佐藤秀一郎
【事務長】藤田正則
【看護師長】石田由美子
【副院長】垣田秀治
【外科部長】前田武昌

【事務主任】石田美穂
【事務員】
 山田泰行・原澤美和・西垣公代(管理栄養士、新規採用)

【看護主任】上田武美・平田千春・林 真紀
【看護師】
 山内和子・山内博子・細見友子・竹内和代・上田ひとみ・山田加奈恵・大西正美・谷掛郁代・伏原幸子・中村育美・田路利恵・西山由里・谷口紀久恵・貞守京子・田中真由美・野村厚子・小寺恵美・米山栄一

【放射線技師】山内敏行
【薬局長】腰山節子
【薬剤師】松村陽子
【理学療法士】井爪直美

瑞穂保健福祉センター
京丹波町和田中6番地1

保健福祉課 ☎86-1800
【課長】堂本光浩
【課長補佐】山森英二・木下浩昭 古谷千津子
【健康推進係長】上原美智子
【健康推進係主任】永海貴子
【福祉係長】山根美智代
【介護保険係長】大西義弘
【包括支援センター主任】井上祐子

 吉田敦美・大西孝治・吉田 聡・福本あみ子・村山奈央・久保元真一・東 由加里
【栄養士】上林小百合
【保健師】
 藤田むつみ・島田恵子・堀 道枝・西村美智子・保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・蓮見純子(新規採用)

瑞穂情報センター
京丹波町和田中15番地 1

企画情報課情報推進室 ☎88-5000
【室長】藤井雅文
【主任】原澤 恒

 堀内浩二・北村和正・田畑昭彦・西村公貴・山内美幸

京丹波町役場本庁
京丹波町蒲生八ツ谷62番地 6
代表 ☎82-0200

地域医療課 ☎82-3809
【課長】下伊豆かおり
【医療係長】(下伊豆かおり)
 正田智久

産業振興課 ☎82-3808
【課長】山田 進
【課長補佐】西田明範・木南哲也 一谷 寛
【農林振興係長】橋本賢二
【農林事業係長】保田志信
【商工観光係長】四方晴美
【企業立地推進係長】中川 豊

栗林英治・井上晴之・徳島康善・片山晴子・山本桂市・竹村 洋・西山宏明

土木建築課 ☎82-3806
【課長】松村康弘
【課長補佐】高畑利彦・湊 史明 十倉隆英
【管理係長】榎川 一論
【土木係長】山内和浩
【建築係長】(高畑利彦)
【ダム推進係長】(湊 史明)

田尻 穂・西野菜保子・荻野雅則・山下 徹・秋山卓弘

会計室 ☎82-3804
【室長】岡本佐登美
【出納係長】樹山敬子

羽生田真由

企画情報課 ☎82-3801
【課長】岩崎弘一
【課長補佐】樹山敏彦・今西政治
【総合企画係長】中野竜二 (まちづくり推進担当)
【広報広聴係長】(樹山敏彦)
【人権政策係長】(今西政治)
【交通対策係長】小谷誠之

野々口清仁・四方妃佐子・小原直也(まちづくり推進担当)・松下由美・山内圭司

【瑞穂バス事業所】三好 稔
【和知バス事業所】河谷勝治

税務課 ☎82-3802
【課長】岩田恵一
【主幹】福井彰一郎・伊藤康彦
【課長補佐】野間 隆
【賦課係長】中井伸幸
【徴収係長】(野間 隆)

山田 實・梅原千里・下村邦喜・畠中美子・軽尾圭造・伴田裕章

住民課 ☎82-3803
【課長】伴田邦雄
【課長補佐】吉田 正・谷口 誠
【戸籍住民係長】松下すみ子
【保険年金係長】岡本明美
【環境推進係長】(吉田 正)

山内智美・光枝三千代・島 文子・原澤 洋・西村明美・上原康宏・井口理恵

会計管理者 藤田義幸

参事 田端耕喜

議会事務局 ☎82-3805
【事務局長】長澤 誠
【庶務係長】西山民子

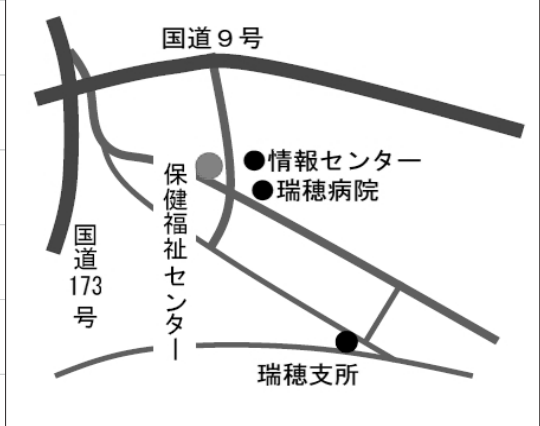
石田武史

総務課 ☎82-3800
【課長】谷 俊明
【課長補佐】岡本英子・川島勇人 松山征義
【総務係長】田中晋雄
【人事秘書係長】上林潤子
【人事秘書係主任】太田創一
【財政係長】(松山征義)
【消防防災係長】片山 健

水間和美・野々口慶司・山内善史・上西貴幸・堀 孝子・山内明宏・片山加奈・豊嶋裕美・並河直樹(京都府派遣)

監理課 ☎82-3811
【課長】山田洋之
【主幹】松原武司(京都府派遣受入)
【総務契約係長】(山田洋之)
【指導検査係長】(松原武司)

中村昭夫・山内敏史(京都府派遣)



MAP
 瑞穂保健福祉センター
 瑞穂病院
 瑞穂情報センター

中央公民館
京丹波町蒲生野口38番地

教育委員会社会教育課丹波分室 ☎82-0988
【主任】山崎哲夫
 岡本芳明



MAP
 京丹波町役場本庁
 中央公民館



職員の配置

四月一日付け、人事異動を行い、職員の配置は次のとおりになりました。
 (嘱託職員など除く、敬称略)

新しい子育て支援がスタート



平成20年5月1日から

戸籍住民窓口での「本人確認」が法律上のルールになります。

戸籍や住民票は、個人情報に記載されている大切なものです。そのような証明書は、他人に不正に取得されないようにしなければなりません。また、他人が虚偽の戸籍届出や住民異動届出をすることにより、真実でない記載がされることのないようにしなければなりません。そこで、次のようなルールが法律で定められました。



●戸籍または住民票などの証明書の交付請求時には…

「本人確認」を行います。

窓口に来られた方について、運転免許証、写真付き住基カード、パスポートなど官公署発行の写真付の本人確認書類の提示により、確認を行います。
※上記確認書類のない場合は、健康保険証、年金手帳など複数の書類により確認します。

正当な理由を明示してください。

⇒本人以外の方からの請求について…

・自己の権利を行使したり、自己の義務を果たしたりするために戸籍の内容または住民票の記載事項を確認する必要があること

・国または地方公共団体の機関に提出する必要があることなどの正当な理由を、請求書に詳しく書くことが必要になります。

※代理人の方については、委任状の書面により代理権限の確認を行います。

●戸籍の届出または住民異動届出時には…

婚姻、協議離婚、養子縁組、協議離縁または認知の届出(以下「婚姻等の届出」)、あるいは住民異動届出について以下の取り扱いが法律上のルールになります。

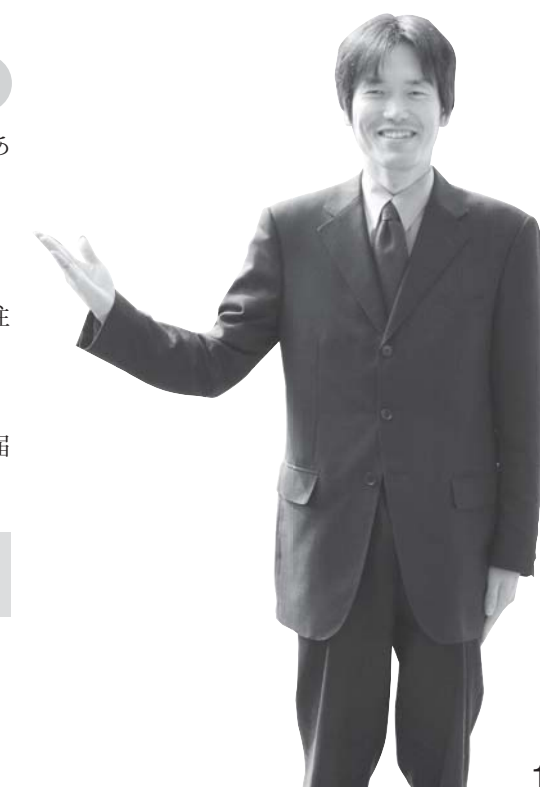
「本人確認」を行います。

窓口に来られた方について、「本人確認」を行います。確認の方法は、戸籍または住民票等証明書の交付請求の場合と同様です。

「通知」を行います。

戸籍届出や住民異動届をされた方の本人確認ができなかった場合は、ご本人に届出のあったことを通知します。

偽りその他の不正な手段によって戸籍証明書や住民票などの交付を受けた人は、刑罰が科せられます。



一時保育事業を始めました

平成20年4月から「一時保育事業」を始めました。保護者の方の通院や介護、冠婚葬祭により急用で家庭での保育が困難な方や育児不安などがありお疲れの場合に、一時的にお預かりするサービスができました。また、短時保育を利用されている方も一時保育事業が利用できます。

対象年齢	1歳から就学前のお子様
利用時間	午前8時30分～午後4時30分(土・日・祝日・年末年始は休み)
利用料金	1時間 3歳児未満250円(1日2,000円) 3歳児以上200円(1日1,600円) (給食は別途200円)
申込方法	予約制です。利用3日前までに「一時保育申込書」に記入のうえ、子育て支援課または保育所へ申し込んでください。
定員	1日3人まで
実施施設	上豊田保育所

発達支援事業を始めました

お様が成長していく過程につきものの、さまざまな不安についての相談をお受けし、一人ひとりにあった支援を行います。お気軽にご利用ください。

相談

身体の使い方、ことば、食事、友だちとの遊び方などについて、専門のスタッフが相談をお受けします。(無料、事前予約制)

場 所 町健康管理センター

- ひよこ相談(医師) 毎月第1回(日)の午前
- すくすく相談(作業療法士) 毎月第2・4回(日)の午後
- いちご相談(言語聴覚士) 月2回
(日時は子育て支援課へお尋ねください。)
- たんぼぼ相談(臨床心理士) 第1・3回(日)の午前

訪問支援

必要に応じてスタッフが保育所・幼稚園に出向き、支援を行います。

あそびの広場

発達支援があることで、成長を期待できるお子様を対象に、少人数でのグループ活動を行います。保育所・幼稚園との並行利用も可能です。

開催日

毎週 月・金 午前10時～午後2時

利用料

1回200円

場 所

町健康管理センター

申込方法

利用申請書を子育て支援課に提出してください。後日、利用決定についてご案内します。

※利用は週1回、火曜日が金曜日のどちらかになります。申し込みいただいた方を火曜日グループ、金曜日グループに分けさせていただきます。

保育所徴収金基準額表(保育料表)

階層	各月初日の入所児童が属する世帯の階層区分		保育料基準額(月額)	
	定義	3歳未満の児童	3歳以上の児童	
A	生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む。)	0円	0円	
B	A階層を除き、前年度分の町民税の額が右の区分に該当する世帯	町民税非課税	9,000円	6,000円
C1		均等割のみ課税	10,000円	7,000円
C2		所得割の額が8,000円未満	15,000円	8,000円
C3		所得割の額が8,000円以上	19,000円	9,000円
D1		2,000円未満	23,000円	12,000円
D2		2,000円以上6,000円未満	26,000円	14,000円
D3		6,000円以上17,000円未満	29,000円	16,000円
D4		17,000円以上28,000円未満	32,000円	18,000円
D5		28,000円以上39,000円未満	35,000円	20,000円
D6		39,000円以上56,000円未満	38,000円	22,000円
D7	56,000円以上78,000円未満	41,000円	24,000円	
D8	78,000円以上103,000円未満	44,000円	26,000円	
D9	103,000円以上147,000円未満	47,000円	28,000円	
D10	147,000円以上	50,000円	30,000円	

保育料を改定

町立保育所の保育所徴収金基準額表(保育料表)を改定しました。保育料は、保護者の前年の所得税額または町民税額により決定していますので、平成19年度からの税源移譲により変更となる税額に合わせ保育料決定のための定義(区分)の見直しを行いました。なお、今回の改定は、税源移譲によるものであり、改定に伴う保育料の変動は基本的にありません。

【保育料の免除】

B階層と認定された世帯であっても、次の世帯に該当する場合は、保育料が0円となります。

- ①母子世帯など。
- ②在宅障がい児(者)のいる世帯。(身体障がい者手帳または療育手帳の交付を受けた人、特別児童扶養手当の支給対象児、国民年金の障がい基礎年金などの受給者)
- ③保護者の申請に基づき、生活保護法に定める要保護者など特に困窮していると町長が認めた世帯。

※平成19年度から多子軽減の適用範囲を幼稚園や子育て支援センター(短時保育)にも拡大しました。同一世帯で2人以上の児童が同時に在籍している場合、年齢の低い児童が保育所児童であれば、2人目は保育所徴収金基準額の50%、3人目は10%になります。



審議会を代表して田端勇会長(写真左)が松原町長のもとを訪れ、答申書を手渡しました。(役場町長室)

特別職報酬、据え置きが適当

特別職の適正な報酬のあり方を審議してきた町特別職報酬等審議会(田端勇会長、委員七人、平成十九年十一月二十六日発足)が、三月三日、松原町長に答申しました。答申では、「町長、副町長、教育長の給料の額は、その職務と責任の重さ、府内他町村や類似団体と比較しても、おおむね適正な水準にあることから、現行の額で据え置くことが適当である」として

としています。また、議会議員の報酬については、「府内の他町村や類似団体と比較して、ほぼ同等の水準にあるが、議会の開催日数などを考慮した日額換算では割高感を覚える。今後、報酬額について自主的に検討されることも考慮し、現行の額で据え置くことが適当である」との結論に至ったとしています。現行の報酬月額、町長六十七万五千円、副町長五十五万八千円、教育長五十四万四千円(以上は昨年四月からそれぞれ一〇%減額を実施)。議長は三十三万五千円、副議長が二十三万五千円、議員が二十一万円です。

今後の農業・農村を考える講演会開く

京丹波村おこしふる里ネットワーク



曾祖父にあたる小泉八雲の生い立ちや考え方を紹介する小泉准教授。(道の駅「丹波マーケス」コミュニティホール、須知)

京丹波村おこしふる里ネットワーク(谷口忍代表)が三月十六日、道の駅「丹波マーケス」で「これからの農業・農村を考える講演会」を開催。明治時代の文学者・小泉八雲のひ孫にあたる島根県立短期大学の小泉凡准教授の「小泉八雲とアイルランド」と題した講演と、京都府立大の宮崎猛教授の「農業・農村に期待すること」と題した講演がありました。参加者らは講演を通じて、都市農村交流のあり方などへの理解を深めました。

健診を受けまじょう

このコーナーは、町立病院・診療所の医師が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当医は瑞穂病院の佐藤秀一郎・病院長。四月から始まった特定健診・特定保健指導やメタボリックシンドロームなどについてのお話です。

ご

存じのように、本年四月から新たな医療制度にわたって、メタボリックシンドローム内臓脂肪症候群に着目した生活習慣病の予防のための新たな特定健診が実施されます。腹囲、血圧、血液検査の健診結果と喫煙歴などの生活習慣病のリスク要因の数に応じて階層化し、生活習慣病の改善に主眼をおいた保健指導(食生活、運動など)がなされます。保健指導を早期に開始し、行動変容を促し、糖尿病などの生活習慣病の該当者、また、予備軍といわれる人々を減少させるのが目的です。今年、各地域での集団健診となり、あわせて各種がん検診が行われます。進んで健診を受け、ご自分の健康を確認され、安心な日々を送っていただきたいと思ひます。

メタボが重症化すると

メタボリックシンドロームとして、肥満症、高血圧症、糖尿病、高脂血症があげられますが、その各々が重症化、または合併症によって日常生活に大きな支障を引き起こし、糖

尿病では失明、じん不全に至ることがあり、高脂血症、高血圧症から脳卒中(脳出血、脳こうそく)にいたり、また、虚血性心疾患(狭心症、心筋こうそく)の発症につながることもあります。この結果、日常生活に支障を生じ、また、後遺症として半身麻痺が残る、さらに認知症につながることもあります。

二次検査、治療が必要なときは病院へ

万一、二次検査、治療が必要ということであれば、瑞穂病院、和知診療所を受診していただき、的確な診断のもと治療に取り組み、生活習慣病の重症化、合併症を予防してください。わたしたち病院スタッフ一同、たとえ一病あつても息災にお過ごしになれるように努力していきます。がん検診にしても二次検査、治療の必要ときは、まず、瑞穂病院、和知診療所へお越しください。治療、紹介も含めて最善の道を探っていきます。



今月の医師 佐藤 秀一郎・病院長(瑞穂病院)

高齢者世帯の安心確保へスクラム

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援

三月二十五日、町と郵便事業株式会社、社園部支店(寺田延恒支店長)、京都農業協同組合(JA京都、竹内敏三代理事、理事事務長)が、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援に関する覚書を交わしました。これは高齢化が進む中、ひとり暮らし高齢者世帯や老老介護状態にある世帯などが、住み慣れた家で安心して生活できるよう、三者が連携して見守り支援を行うというものです。具体的には、郵便事業株式会社は、配達業務などを通じて、JA京都は従来から行っている組合員への世帯訪問や外交渉業務を通じて、高齢者世帯を対象に声かけや安否確認を行います。町は、両者からの情報提供をもとに世帯への対応を行い、ひとり暮らし高齢者世帯などが安心して生活できる環境づくりに努めます。

伝承の技を熱演

中部地域伝統芸能フェスティバル

京都府中部文化芸術祭「中部地域伝統芸能フェスティバル」が三月十五日、和知ふれあいセンターで開催されました。この文化芸術祭は、口丹波二市一町でつくる実行委員会が主催。今回は「伝承芸能」をテーマに、本町和知地区の伝統芸能「和知人形浄瑠璃」や「和知太鼓」「小畑万歳」「和知文七踊り」のほか、口丹波の各地区に伝わる伝承芸能が上演されました。



和知人形浄瑠璃の舞台。(和知ふれあいセンター、本庄)

わたしたちの町

人口	17,356 (-72)
男	8,222 (-44)
女	9,134 (-28)
世帯数	6,472 (-16)
4月1日現在/()は前月比	



スポーツ賞を受賞した皆さん。(町中央公民館、蒲生)

スポーツの功労や好成績たたえる 京丹波町スポーツ表彰式

平成十九年度京丹波町スポーツ表彰式を三月四日、町中央公民館で開催。地域のスポーツ振興に力を注いできた人や、各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた個人・団体など十三人四団体の皆さんが栄えあるスポーツ賞に輝きました。受賞者は次の皆さん。(敬称略)

【功労賞】(長年、地域スポーツ振興に尽力した人)

高畑満(グラウンドゴルフ協会、八田)▽青木勝弘(同、須知)

▽藤井文男(少年野球指導者、升谷)▽隅山國夫(同、下山)▽

小林秀直(同)▽豊嶋浩史(小学生ホッケー指導者、和田)

【特別栄誉賞】長澤克好(ホッケー日本代表、アジアカップ四位など)

【優秀賞】豊嶋玄子(全国グラウンドゴルフレディース交歓大会・三位、和田)▽武内博(全国スポーツレクリエーション祭グラウンドゴルフ大会・ブロック八位、橋爪)▽西田奈央(ホッケー日本代表として中国遠征など、豊田)▽石田明日華(ホッケー十八歳以下日本代表、鎌谷奥)▽二谷麻実(ホッケー中学生日本代表、口八田)▽一谷維

(同)

▽須知高女子ホッケー部(インターハイホッケー競技・優勝など)

▽蒲生野中女子ホッケー部(全日本中学生ホッケー選手権大会・三位など)

▽京都選抜女子ホッケーチーム(全日本中学生都道府県対抗十一人制選手権大会・二位)

【スポーツ奨励賞】

京丹波町選抜男子ソフトボールチーム(京都府民総体ソフトボール競技・三位)

夢と希望を胸に、 学び舎羽ばたく 卒業・卒園式

三月十三日、町立中学校(蒲生野・瑞穂・和知)の卒業式が行われ、計百六十六人が卒業しました。和知中の卒業式では、小杉辰義校長から卒業生三十人に卒業証書が手渡された後、在校生を代表して榎川博也さんが、

「先輩たちが残してくれた足跡をしっかりと踏みしめ、伝統ある和知中を引っ張っていきます」と送辞を述べました。続いて卒業生を代表して、松下智恵さんと梅原美華さんが答辞。クラスメイトと過ごした三年間の思い出を振り返った後、「それぞれ進む道は違いますが、三年間で学んだことを糧に、夢と希望に向かって歩んでいきます」と述べました。

三月二十日には町立八小小学校の卒業式があり、計百四十八人が卒業。町立幼稚園・保育所では、須知幼稚園で三十一人、町立三保育所で計九十一人が卒園しました。



和知中卒業式。三年間の思い出を胸に刻み、卒業生たちは卒業証書を手に入れました。(和知中体育館、市場)



上豊田保育所卒園式。卒園の歌を元気よく歌う園児たち。(上豊田保育所、豊田)



質美小卒業式。卒業の歌を歌う卒業生と在校生。(質美小体育館、質美)

編集後記

人事異動により、この号をもって広報京丹波のペンを置かせていただくことになりました。行政を身近に感じていただける情報紙でありたい、各分野で活躍されている皆さんの応援団でありたい、そんな広報をめざして担当してきた二年半。取材で出会った皆さんの情熱やひたむきな姿を多くの人びとに伝えるべく、文章は「心で書く」ように心がけてきました。果たしてどれだけ伝えられたか、反省は尽きませんが、広報活動を通じて培った力を次の新しい職場で生かしていきたいと思ひます。取材でお世話になった皆さん、ありがとうございました。来月号から担当する新しい編集子をよろしくお願ひします。(Y)